



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2021年  
10月28日  
発行

## 第109回 「迷走する日本の政治と株式市場」

### ～勝者は日本維新の会～

#### 初めに

日本の政治が迷走しています。自民党は菅前首相を総裁選不出馬に追い込んだまではよかったかもしれませんが、岸田新首相が迷走し、分配と成長、新しい資本主義など言葉先行で明確な公約を示すこともできないまま総選挙に突入。静岡補選では野党に敗北、いきなり黄信号です。上昇した株価も元に戻ってしまいました。今回は、総選挙の見通しとそれに伴う株式市場の動きについて考えます。

#### これまでと異なる今回の総選挙

今回の総選挙にはこれまでと大きな違いがあります。それは、政策で見た政党の立ち位置です。前回までは、成長重視の自民・維新と分配重視の公明・及びその他野党、という図式でした。しかし、岸田首相誕生に伴って自民の政策が分配重視にシフトしたため、維新を除く主要政党の全てが分配を重視することになりました。これは、選挙に大きな影響を与える要因と見えています。これによる恩恵が期待されるのは日本維新の会です。

#### 維新好調のわけ

ここまでの選挙戦で好調が伝えられているのが日本維新の会です。各メディアはこぞって議席の大幅増を予想しています。維新好調の理由は2つあると見えています。先程の立ち位置の変化とばらまき色が少ない公約です。

#### 岸田氏の政策が維新の追い風に

前述のように自民党の政策の立ち位置は成長重視から分配重視にシフトしました。これが自民党支持者を困惑させている、という見方があります。岸田氏の政策がどうなるか計りかねているわけです。そうした自民党支持者の中には、成長重視を明確に打ち出している維新に投票する動きもあるようです。もう一つの理由はばらまき色が少ないことです。各党はコロナで困窮した方への現金給付など公約を掲げています。これは必要な施策ですが、ただ、既に政府債務が高水準にあることから、財政に懸念を感じる方も多いと思います。しかし、維新の場合は給付する一方で行財政改革により財政にも目配りすると言う建付けになっています。これは国民に安心感を与えたいと思います。以上2つが、維新の躍進が見込まれる理由です。

#### 野党共闘は奏功するか

一方、野党共闘ですが、一人区では激戦となっている所が多いと言われており、それなりに効果は出ているようです。ただ、これで野党の議席が増えても、今後国会で野党が協力するのは難しいと思います。また、労働組合の中にはトヨタの全トヨタ労働組合連合会のように共産党に対する拒否感をあらわにするケースもあり、今回の選挙で野党共闘が成功しても続けるのは難しいと思います。

#### 株式市場への影響

選挙についてはこの様に考えていますが、これを踏まえて株価の動きを予想してみます。自民党の議席減はやはり悪材料であり株価は下落すると思います。ただある程度は織り込み済みと見られるので大幅な下落にはならないでしょう。ただし岸田氏の求心力は更に低下すると思われるので、政治の機能不全が続き、株価の頭を抑えることもあるかと思えます。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。